



黒企第 277 号  
平成28年3月29日

黒石商工会議所  
会頭 村上信吾 様

黒石市長 高 樋



平成28年度黒石市に対する要望事項について（回答）

平成27年12月7日付け黒商発第82号で提出のあった標記について、別紙のとおり回答します。

担当：黒石市企画財政部企画課  
企画調整係 藤 本  
TEL：0172-52-2111 (内線 236)  
FAX：0172-52-6191  
E-mail：y-fujimoto@city.kuroishi.aomori.jp

平成28年度

黒石市に対する要望事項の回答

黒石市

## 平成28年度黒石市に対する要望事項一覧

要 望 事 項		担 当 課	当日意見 交換項目	ページ 番 号
◆「福祉」				
1	黒石病院に対する要望について (継続・一部変更)	黒石病院	○	1
2	地域医療の充実に係る要望について (新規)	黒石病院 健康推進課		2
◆「商工業振興」				
3	シャッター街の解消について (継続・一部変更)	商工観光課	○	3
4	黒石市制度融資の拡充について (継続)	商工観光課		4
5	地域産業振興・雇用拡大につながる交付金について (継続・一部変更)	商工観光課		5
◆「都市環境」				
6	定住・交流人口増加対策の強化について (継続・一部変更)	企 画 課 商工観光課	○	6
7	大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について (継続)	土 木 課 都市建築課		7
8	黒石市の空き家調査について (継続・一部変更)	総 務 課		8
9	黒石市民ガイドブックに係る要望について (新規)	企 画 課	○	9
10	ふるさと寄付金に関する要望について (新規)	総 務 課	○	10
◆「観光振興」				
11	黒石よされ誘客の促進について (継続)	商工観光課	○	11
12	近隣市町村を回遊するためのイベント情報の一元化について (継続・一部変更)	商工観光課		12
◆「文化・教育振興」				
13	市民文化会館の早期再開とその活用について (新規)	社会教育課	○	13

様式 1

要望事項 1 黒石病院に対する要望について（継続・一部変更）

担当課・機関名 黒石病院事務局

回答者職氏名 次長 須藤 勝美

要望事項の内容

内科と整形外科において導入している予約制について、予約時間と実際の受診時間に関係があり、場合によっては数時間を要する状況が見受けられることから、下記について要望します。

- 予約時間の設定方法の見直し
- 受診者へアナウンスする等の改善策を講じる
- 予約制を導入していない診療科における待ち時間の改善策の検討

要望事項に対する回答

- 予約時間の設定方法の見直し

医師の退職に伴い、十分な医師数を確保できていない現状において、すべての患者さんを時間内に診察終了することは一部診療科では難しい状況にあります。予約時間での診察を確実なものとするためには医師の増員以外に方法がないと考えており、今後も医師確保については粘り強く各方面に働きかけてまいります。

- 受診者へアナウンスする等の改善策を講じる

受診される方へのアナウンス等については、患者さんの状況により診察が前後することや救急車の受け入れ状況により診察時間が大きく変わるため、アナウンスする事で逆に混乱や誤解を招くことがあることから、以前は行っておりましたが現在は行っていません。

現在は、医師の診察が遅れることが分かった時点で外来前にてお知らせしておりますが、個々の問い合わせについては窓口で対応しておりますので、今後も現状の対応を継続していきたいと考えております。

- 予約制を導入していない診療科における待ち時間の改善策の検討

予約制については外科、眼科、脳神経外科にも対象を広げ、現在は対象科が5科となり、待ち時間短縮と混雑緩和に努めているところです。

また、予約制を導入していない診療科においても今後の患者数の推移を見ながら、必要に応じて措置を講じてまいります。

様式 1

要望事項	2 地域医療の充実に係る要望について（新規）
------	------------------------

担当課・機関名	健康推進課・黒石病院事務局	回答者職氏名	課長 木村 齊 吾 次長 村上 靖
---------	---------------	--------	----------------------

要望事項の内容	<p>市内に10以上の診療科がある病院は黒石病院のみであるため、患者が集中し、過剰に混雑する原因となっている。</p> <p>それらの状況を改善するため、個人病院の開業を促進するような環境整備と高度な医療に関して黒石病院と連携が図れるような医療体制の充実に要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>【健康推進課】</p> <p>現在、青森県の医師不足は深刻な問題であり、このような医師不足を解消するため、弘前大学医学部と連携を促進し、弘前大学医学部へ本県人材の進学生を増やすことが急務であります。</p> <p>そのために青森県は、本県高校出身の弘前大学医学部入学生に対し入学金・授業料負担の代償措置を講じるとともに県内医療機関への勤務を義務付ける「医師確保対策事業」を実施しております。</p> <p>当市においても、この事業は必要であると考え事業費の一部を負担し事業の安定化を図ることにより、県内に定着する医師が増え青森県の医師不足の解消と地域医療の確保に繋がるものと考えております。</p> <p>市内の開業医の先生方は、南黒医師会に所属し医業活動をされています。</p> <p>南黒医師会には、黒石病院の先生も多数会員となっており、日頃より情報交換を行っている状況であると聞いております。</p> <p>また、行政といたしましても、今以上に南黒医師会との連携・連絡を密にして医療体制の充実に目指したいと考えております。</p> <p>【黒石病院】</p> <p>黒石病院では、高度な医療に関する医療連携として、平成24年4月から「登録医制度」を導入しております。</p> <p>この「登録医制度」とは、黒石病院と地域の医療機関・介護福祉施設等が、適切な役割分担と医療連携を通じて、地域住民の皆様が必要とする高度な医療サービスをより効率的に提供しようとするものです。患者さんは登録医での診療を継続したまま、黒石病院で行う専門的な検査や治療を受けることができます。</p> <p>平成28年1月現在、医科歯科合わせて70名が登録しており、また、平成26年度における利用状況は、一般受診597件、救急受診59件、検査依頼180件となっております。制度導入から4年目となり、制度の浸透と適切な運用が進んでいるところですが、今後もさらに連携を深め、医療体制の充実に努めて参ります。</p>
------------	---

様式 1

要望事項	3 シャッター街の解消について（継続・一部変更）
------	--------------------------

担当課・機関名	商工観光課	回答者職氏名	課長補佐 佐々木 順子
---------	-------	--------	-------------

要望事項の内容	<p>市・商工会議所・商店街団体が連携し、黒石市の環境に合致した先進地事例の研究等を行いながら、仕組みの構築にあたることを要望します。</p>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>黒石市中心市街地空き店舗対策事業は、平成27年度において地方創生に係る交付金を活用し改装費を1件当たり150万円に増額して実施致しました。現時点で申請・補助金交付決定済は4件で、別に新規出店の相談も受けており順調に進捗している状況です。平成28年度も事業を継続しつつ、補助対象経費の拡充による制度の見直しを図り、出店される方が利用しやすく、経費負担が軽減されるように検討しております。</p> <p>しかしながら、老朽化や住宅併用のため賃貸借物件としない等、中心市街地の空き店舗は新規出店者の受入れ体制が整っていないうえ、大型店の閉店や店舗解体による空き地が増え空洞化が進行している状況であることは事実であります。市と致しましては、貴会議所が設置した中心市街地活性化特別委員会への参加や同委員会が実施した先進地視察等事業費に対する補助を通じ、連携して課題解決に当たっており、今後も街づくりを優先課題として検討してまいります。また、昨年12月に策定した「黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」においても未利用資産の再活用を含め中心市街地活性化を施策として取り上げておりますが、受入れ体制の整備については中心市街地の住民、商店街団体並びに商工会議所のご協力は必須であり、更なる連携強化をお願いしたいと考えます。</p>
------------	--

要望事項	4 黒石市制度融資の拡充について（継続）
------	----------------------

担当課・機関名	商工観光課	回答者職氏名	課長補佐 佐々木 順子
---------	-------	--------	-------------

要望事項の内容	<p>黒石市制度融資の市負担保証料を貸出限度額まで拡大し、地域事業者の資金繰り円滑化を図るためにも下記について、制度内容の拡充を要望します。</p> <p>○貸付総額に対する全額保証料補給 ○小口資金特別保証制度資金、事業活性化資金特別保証制度利用条件の緩和、並びに利用促進のPR</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>黒石市特別保証制度については貴会議所・市内の同制度に賛同する金融機関並びに県信用保証協会の協力をいただき実施している中小企業支援策の一つであります。</p> <p>ここ数年は制度の利用実績が低迷しているため、市、貴会議所、金融機関の融資担当者によってより使い勝手の良い制度を構築し、ひいては利用率が向上し中小企業の経営安定化につながることを目的として検討を重ねているところです。</p> <p>貸付総額に対する全額保証料補給については、黒石市特別保証制度を利用される中小企業者が、年度を通じて公平に保証料補給を受けられるよう財源の確保にあたるため、金融機関や県信用保証協会と連携を密にし利用状況の把握に努め、できる範囲で対応して参りたいと考えます。</p> <p>小口資金・事業活性化資金特別保証制度の利用条件の緩和については、昨年度もお答えした通り基本となる制度は信用保証協会の提示した規定に則って実施しており、市で変更可能な部分については見直しを図っております。例えば事業活性化資金特別保証制度の保証料補給は、平成27年度において補給対象となる企業の要件を緩和致しましたが、新年度も更に利用しやすい中小企業者の支援制度となるよう要件緩和を提案しております。</p> <p>利用促進については、市の広報誌やホームページでの紹介を継続して参りますが、貴会議所におかれましても、より民間事業者と接する機会を多く持っておられるため、制度のPRをしていただくとともに事業者からの融資制度への要望等、市への情報提供にご協力をお願いしたいと思います。</p>
------------	---

様式 1

要望事項	5 地域産業振興・雇用拡大につながる交付金について（継続・一部変更）
------	------------------------------------

担当課・機関名	商工観光課	回答者職氏名	係長 長谷川 英
---------	-------	--------	----------

要望事項の内容	<p>地方創生のまち・ひと・しごと創生における主な施策の中に「若者雇用対策の推進、正社員実現加速」が掲げられており、雇用の拡大を図ることは、人口減少問題の克服に繋がるものと考えます。</p> <p>そのためにも、黒石市から国・県・関連団体等に対し、平成25年度まで実施された「実務研修型雇用対策事業」に代る事業主・求職者の両者にとって有効な交付金制度の検討を働きかけていただくとともに、その情報提供を要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>「実務研修型雇用対策事業」は、地域の雇用失業情勢が厳しい中で、離職を余儀なくされた失業者等の雇用機会を創出するため、国の平成20年度補正予算で創設された緊急雇用創出事業を活用し、市が事業内容を企画立案して委託事業者を公募の上、平成22年度からスタートした業務委託事業であることはご承知のことと思います。</p> <p>「実務研修型雇用対策事業」を含む緊急雇用創出事業は、様々な事業を実施しており、一定の成果がありました。近年、全国的に有効求人倍率も回復傾向にあり、社会情勢の変化とともに制度改正しながら実施されてきた緊急雇用創出事業は、今年度で終了することとなっております。</p> <p>しかしながら、国、県においても類似する助成制度等がありますので、情報提供はもとより、その内容の周知に努めるとともに、要望があれば対応いたします。</p> <p>また、全国的な人口減少社会に伴い、企業が求める人材確保が難しくなっていることは事実であり、各企業では人材確保に向けた取り組みを強化している傾向となっていることから、採用後の教育プログラムや待遇について見直す時期であると考えます。市としましては、「黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略」にて人口減少対策に組み込み、今後の人材確保のためのキャリア教育の可能性などを調査する予定としております。短期間の助成措置は根本的な解決にはならないため、各企業での就業定着率改善対策や魅力ある職場づくりなど、働きやすい環境整備に取り組むとともに、人材確保に向けた対策を検討していただく必要があると考えますので、今後も情報共有しながら問題に取り組んでいくことを期待します。</p>
------------	--

様式 1

要望事項	6 定住・交流人口増加対策の強化について（継続・一部変更）
------	-------------------------------

担当課・機関名	商工観光課・企画課	回答者職氏名	係長 長谷川 英毅 課長 千葉
---------	-----------	--------	--------------------

要望事項の内容	<p>人口減少と少子高齢化が一層進むことは、地域経済にマイナス効果をもたらすものであり、これに歯止めをかけることは極めて重要な課題であるとの認識から、定住・交流人口増加対策の一環として次のとおり要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○働く場の確保による定住人口の増加と賑わい再生を図るため、既存誘致企業の留置活動の推進と優良企業の誘致活動の強化を図ること。</li> <li>○文化会館をはじめとする行政関連施設の効率的な運用による交流人口の増加を図ること。</li> </ul>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>【商工観光課】</p> <p>市は、県や弘前圏域定住自立圏と協力し、社会情勢の変化に対応した黒石市のPRなどを検討しながら、誘致・留置活動を継続して実施しております。工業団地に空き地がない本市においては、既存のものを有効活用する手段等が重要であると考えて施策を検討し、実施しております。その一例をあげますと、平成24年度には規定する区域の緑地面積率及び環境施設面積率を緩和するため「黒石市工場立地法地域準則条例」を制定し、平成27年度は奨励措置の適用要件を緩和するために「黒石市工場等設置奨励条例」の一部改正を実施しております。このように、既存企業が活動しやすい環境整備や新規企業が魅力を感じる制度設計となり、黒石市に興味を持ってもらえるのではないかと考えます。今年度は数年ぶりに新規企業の進出があったほか、工場増設等もあり、就業の場の確保としては成果が表れたのではないかと考えております。</p> <p>昨年11月に県が国の認定を受けた「地域再生計画」は指定区域内で企業が本社機能部門の移転・拡充に伴う整備計画を作成した場合、税制上の特例措置をはじめとした優遇措置がうけられる制度で、黒石市でも対象地域が指定されております。今後も地元企業との関係強化を図り、雇用も含めた状況把握に努め有効な施策を検討して参りたいと考えます。</p> <p>【企画課】</p> <p>市民文化会館の再開については再開後の運営形態を含めて様々な角度から検討を進めているところですが、財政的にも再開の時期について明言できる段階になく、休館の継続はやむを得ないと判断しました。しかし、1年でも早い再開を目指す姿勢には変わりなく、そのため厳しい財政状況ながら文化会館運営基金6千万円は事業に着手するまで取り崩さない考えであり、引き続き様々な可能性を模索・検討してまいります。</p> <p>また、昨年7月にはこみせ通りに新たに「松の湯交流館」もオープンし、いろいろなイベントを開催し誘客に努めておりますが、今後も市所有の各施設を活用した様々なイベント等のPRに努め、誘客による交流人口の増加を図ります。</p>
------------	--

様式1

要望事項	7 大鰐浪岡線の交通渋滞解消と黒石環状線の整備促進について（継続）
------	-----------------------------------

担当課・機関名	土木課・都市建築課	回答者職氏名	課長 鳴海真一 課長 真土亨
---------	-----------	--------	-------------------

要望事項の内容	<p>大鰐浪岡線は、大鰐町を起点とし、平川市・黒石市を經由して青森市を結ぶ重要路線である。近年、沿道の商業集積や通過交通の流入などによる交通量増加に伴い、慢性的に交通渋滞となっている。この、交通渋滞を解消するため、更なる拡幅工事と本路線東側バイパス路線を含む黒石環状線（都市計画3・4・7 巾16m 延長7,170m）の整備促進を図ることを要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>【土木課・都市建築課】</p> <p>市の事業として、都市計画道路3・4・7黒石環状線の新設区間に平成25年度から着手したところですが、県道弘前田舎館黒石線から国道102号までの区間は、長大橋の建設も必要となることから、財政面及び技術面から、市事業としての実施は困難な状況にあります。</p> <p>大鰐・浪岡線の交通渋滞緩和対策として、県は従前、山形町等の交差点7箇所に右折レーンを設置し、現在、寿町から国道102号までの区間の信号機の調整を行っているということでもあります。</p> <p>また、もう一つの懸案事項となっている、県道吹上金屋黒石線の一部区間について、幅員が狭少で、急勾配、急カーブであり、通学路として利用されているにもかかわらず、冬期間、歩行者等の安全が十分に確保されていない状況にあります。</p> <p>今後、津軽南市町村連絡協議会を通じた本要望を継続するとともに、より効果の期待できる要望についての情報を収集したいと考えております。</p>
------------	--

様式 1

要望事項	8 黒石市の空き家調査について（継続・一部変更）
------	--------------------------

担当課・機関名	総務課	回答者職氏名	課長補佐 太田 誠
---------	-----	--------	-----------

要望事項の内容	<p>平成27年度、黒石市へ要望し「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の規定に基づき、空き家対策を推進していくとの回答をいただいている。民間金融機関においても国の法指針を受け、空き家の解体・リフォーム費用に活用できる商品を開発している背景もあり、引き続き対策を講じていただくことを要望します。</p>
---------	--

要望事項に対する回答	<p>市が把握している空き家等については、定期的なパトロールによる現地確認を行い、管理不十分であると判断した建物については、所有者等に対し、昨年施行された「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の規定に基づく助言により適正な管理を要請しております。また、昨年各町内会から情報提供していただいた空き家等について、現在現地調査を進めており、調査の結果、管理不十分であると判断される空き家等については、こちらも法に基づき所有者等に対し適正な管理を要請していくなど、今後も空き家等の適切な管理を促進するための対策を継続的に講じてまいります。</p>
------------	--

様式 1

要望事項	9 黒石市民ガイドブックに係る要望について（新規）
------	---------------------------

担当課・機関名	企画課	回答者職氏名	課長 千葉 毅
---------	-----	--------	---------

要望事項の内容	<p>行政情報や文化・観光情報を掲載した『黒石市民ガイドブック』を十分に活用できていない状況がある。そのため、次のとおり要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○お店・美容院・飲食店と100円バスの運行コースがリンクした「まちなか便利マップ」のような情報を盛り込み、割引券を添付するなど、有効に使ってもらえるような魅力ある内容にさせていただくことを要望します。</li> <li>○今後は、当地域内の景気回復に向け、地元業者への発注をご検討いただくよう要望します。</li> </ul>
---------	---

要望事項に対する回答	<p>黒石市民ガイドブックは、平成7年から平成15年までは2年ごとに市で作成し、印刷も市内業者に発注していましたが、その後は財政事情が厳しく長らく発行できずにおりました。</p> <p>その後、平成23年に県外業者から黒石市民ガイドブックの発行について、ガイドブックに掲載する行政情報は市が提供するが、印刷等ガイドブック製作に必要な費用は業者が独自に集める広告収入で賄うという官民協働事業で製作することとし、平成24年1月に発行しました。</p> <p>現在の『黒石市民ガイドブック』は昨年8月に発行したばかりであるため、ただちに新しい市民ガイドブックを発行する考えはありません。</p> <p>また、次回発行の際には、いただいたご意見も参考に市民にとって使いやすく魅力的な内容にしたいと思いますが、割引券添付については、市の財政状況が厳しいため、新たな市の歳出が生じるような方法での実施は難しいと考えております。</p> <p>現在、黒石市民ガイドブックは官民協働事業で市の負担がなく発行されております。今後、地元業者様で同様な方法で対応可能であれば、検討したいと考えております。</p>
------------	---

様式1

要望事項 10 ふるさと寄付金に関する要望について（新規）

担当課・機関名

総務課

回答者職氏名

主幹 駒井俊也

要望事項の内容

人材育成や地域福祉の充実、歴史的景観保存等に活用する「ふるさと寄付金」を実施しているが、個人住民税特例控除額引上げ実施や企業版ふるさと納税の検討により「地域色」と「もてなしの心」が求められる。ふるさと寄付金制度がより地域の活性化に繋がる有意義な取組みとなるよう下記の内容について検討いただきたく要望します。

- 地場産品のPRに繋げるためにも、特典品のラインナップの更なる充実
- 「黒石ねぶた」「黒石よされ」の観覧チケットに加え、黒石市の良さを紹介する黒石まちめぐりツアーへの招待（体験型特典）や中野もみじ山の楓の植樹の寄付者名簿にお名前を刻む等、感謝の表れを重視する名誉型特典の充実。
- 複数年にわたる寄付者にはポイント制による特典を用意する等、黒石市を応援してくれるリピーターを大切にする仕組みづくり。

要望事項に対する回答

市では、ふるさと寄附金制度を活用した寄附者に対し、平成27年度から当該寄附金の額に応じて「地酒」「贈答用黒石りんご」等特典の進呈を行っています。

御提案の「特典品のラインナップの充実」についてですが、市の地場産品のPR強化に寄与するものと考え、公募により広く協賛事業者を募るなど特典の充実を図ることとします。具体的なスケジュールについては、平成28年3月から4月にかけて公募手続きの周知を図り、5月中には新たな特典品の決定をし、遅くとも6月には、特典ラインナップを充実したふるさと寄附金制度を新たにスタートさせる考えです。

なお、名誉型特典その他の御提案に係る内容、手法等については、前記の新たな取組みの経過状況を見ながら、新年度以降の調査・研究課題とさせていただきます。

様式 1

要望事項 11 黒石よされ誘客の促進について（継続）

担当課・機関名

商工観光課

回答者職氏名

主 幹 池 田 守 臣

要望事項の内容

黒石よされの開催・運営にあたり、観光客の受け入れ態勢（トイレ・駐車場・照明）の不備や関連設備の老朽化、また祭り参加に係る個人の負担増による参加市民の減少など、多くの問題を抱えている。「黒石よされ」が昔の活気を取り戻すよう、黒石を代表する市の祭りであるとの認識のもと、さらなるご支援を要望いたします。

要望事項に対する回答

黒石よされが当市の夏の代表的なお祭りであるという位置づけは貴会議所とも同じ考えであることはいうまでもございません。

観光客の受け入れ態勢については、黒石市まち・ひと・しごと創生総合戦略の中でも触れており、今後、整備を進めていくことを予定しております。

市も黒石よされ実行委員会の組織の一員であることから、まずは、実行委員会内の長期計画委員会から、昨年11月に実行委員会宛てに答申がありました。

その内容には「市からの補助金の増加が見込めない限り、具体的かつ劇的な解決等はあるわけでもない」というご意見もありましたが、黒石よされに対する更なる支援につきましては、昨年の要望に対する回答と同様、現時点での財政的支援については難しいものと考えております。

ただし、新年度においては、中心市街地を活用した婚活イベントを実施する予定ですので、黒石よされの魅力が発揮できるようプログラムを組み立てていきたいと考えております。

いずれにしましても、今後は、答申内容を基に、経費面のことも含め、黒石よされの将来のあるべき姿、黒石よされが市民の祭りであるという意識の醸成を図れるような議論を深めていきたいと考えております。

様式 1

要望事項 12 近隣市町村を回遊するためのイベント情報の一元化について（継続・一部変更）

担当課・機関名

商工観光課

回答者職氏名

主 幹 池 田 守 臣

要望事項の内容

交流人口の拡大を図り、まちを活性化しようとする取り組みが各地域で進められているが、季節的要因もあり、日程が重複している事例が数多く見受けられる。そこで、同時期に近隣で行われるイベント会場を回遊できるような情報提供の在り方を要望いたします。

要望事項に対する回答

広域的な連携については、当市を含めた津軽圏域自治体や県全体で構成する組織内でも、観光誘客・PR事業の展開と併せ、情報共有を図り、ホームページやパンフレットを作成し、イベントや観光情報を紹介しております。

また、近隣の平川市、田舎館村で構成する組織においては、パンフレット作成や観光PR活動を実施しており、平成28年度においても、観光分野の人材づくりや情報発信の仕組みづくりなどに着手する予定となっております。

イベント情報の一元化について、当市を含めた津軽圏域自治体や県全体で構成する組織内でも、情報共有を図り、ホームページやパンフレット作成し、イベントや観光情報を紹介しております。

その他、中野もみじ山の案内所開設時や黒石りんごまつりなど、当市商工観光課が主催もしくは事務局として開催しているイベントにおいては、市内や近隣施設、近隣市町村の催事情報を、ポスター、チラシに掲載しているほか、依頼があれば会場内にてポスター、チラシの掲示や設置を行ない、より広く津軽南地域の観光情報を提供できるよう努めているところであります。

ただし、当市だけの実施では、周知能力にも限界があることを否めないことから、貴会議所におかれましては、黒石よされや黒石こみせまつりなどの事務局を担っている立場として、市内団体や他商工会議所、商工会はじめ、近隣市町村イベント主催団体と情報共有を図り、より回遊性の高まるような連携の推進へのご協力をお願いいたします。

様式 1

要望事項 13 市民文化会館の早期再開とその活用について（新規）

担当課・機関名

社会教育課

回答者職氏名

係長 村上直嗣

要望事項の内容

老朽化した舞台・設備改修や管理運営費の負担が困難であるという理由で休館している文化会館の一部再開に向け、模索検討しているところであるが、一部再開する施設が「市民館交流の場」「文化活動の発表の場」として多人数が収容可能な施設としてリニューアルされることを要望します。

要望事項に対する回答

市民文化会館・黒石公民館は、本市の教育及び文化の振興又、市街地の活性化を図る重要な拠点であると考えております。

休館後も、市民文化会館・黒石公民館をリニューアルしての再開を本市の重要課題として位置付け、全部再開にあたり多方面にわたり検討して参りましたが、早期再開を目指すため、リニューアルに係る財政と利用要望の両面から、文化会館・黒石公民館の一部再開へと方針を変更いたしました。

しかし、一部再開に至るまでには、屋根防水補修・ボイラー等の施設共有部分の改修、多目的ホールの吊天井・身体障害者用トイレや図書室等の改修に多額の費用が必要とされるほか、再開後に要する人件費や維持管理費等（ランニングコスト）の予算確保も必要と考えます。

このことから、文化団体を初め、市民の皆さまからの全部再開への要望が強いことは重く受け止めておりますが、文化会館・黒石公民館の一部再開を優先して考えておりますことを、ご理解いただきますよう、お願いいたします。